

# 街コオト スクラップ

みんなのイマをパシャ!!

## スポーツ

### 大会新記録で2年ぶり10回目の優勝!



1月29日、霧島市で第30回鹿児島県地区対抗女子駅伝競走大会が行われました。鹿屋市出身選手と鹿屋体育大学の学生で構成された肝属チームは、3区で先頭にたつと、首位を一度も譲ることなく、そのままゴール。2年前に同チームが記録したタイムを29秒上回る1時間9分20秒の大会新記録で、2年ぶり10回目の優勝を果たしました。

### 心身の錬磨・技術向上を目指す



1月21日・22日、市武道館で「鹿児島県地方青少年空手道錬成大会」が開催されました。これは青少年に対し、全空連空手道の正しい理解と、心身の錬磨・技術向上・相互親睦を図るため行われたものです。

### 新たな気持ちで汗を流す



1月7日、新年を迎え、スポーツへの思いを新たにす「けいこ始め式」が市体育館で行われました。当日は、33競技団体から約600人が参加。体育功労者、優秀スポーツ選手、社会体育優良団体、スポーツ少年団功労指導者、スポーツ少年団優良団体の表彰式が行われた後、各競技ごとに初げいこで汗を流し、今年一年の健闘と飛躍を誓い合いました。

### プロ野球選手と交流



1月24日、鹿屋養護学校で、阪神タイガースの大和選手と森越祐人選手による講話や児童生徒とのふれあい活動が行われました。両選手は約180人の児童生徒を前に野球に対する思いなどを述べた後、質問コーナーではユーモアあふれる回答で会場を沸かせました。また、児童生徒とのキャッチボールやバッティング練習も行われ、会場は終始笑顔に包まれていました。

## 福祉

### 地域包括ケアシステムを学ぶ



1月17日、韓国中央看護大学の学生が地域医療視察研修のため市内の病院を訪れました。学生らは市の地域包括ケアシステムや医療介護現場における看護師の役割と連携のあり方などについて学びました。

### 大隅の野球発展のため研修会



1月22日、鹿屋体育大学で、大隅地区の小・中・高大学の野球チームの指導者が一堂に集う研修会「大隅地区野球を語る会」が開催されました。当日は、國學院大学野球部の鳥山泰孝監督らの実技指導などが行われました。

## 行政

### 首都圏の中高生が鹿屋を視察



12月26日～28日、東京都の本郷学園と神奈川県の本郷学園の生徒が鹿屋市で視察研修を行いました。これは、昨年東京都で開催された、首都圏の中高生が鹿屋市の課題について解決策を提案する発表会で、本郷学園が最優秀賞、湘南学園が審査員特別賞を受賞したことに伴い行われたもの。期間中、生徒らは研究内容の発表や鹿屋女子高校との交流などを行いました。

## 講演

### 腸を健康にして絶好調に



1月21日、市保健相談センターで、「腸の健康のための講演会」が開催されました。県消化器がん検診推進機構会長の草野健氏が「絶好「腸」で心と体を健康に」と題して講演し、栄養豊富な地元の食材をよく噛んで味わっておいしく食べることで、胃腸がスムーズに動き、全身の健康につながることや検診も大事と力説。参加者は例を交えた講師の話に聞き入っていました。

### 親子の関わり方について考える



1月21日、市文化会館で「第21回鹿屋市PTA研究大会・家庭教育講演会」が開催されました。会に先立ち、地域学校協働活動の文部科学大臣表彰伝達や優良少年少女団体の県教育委員会表彰伝達、市社会教育功労者・団体の表彰が行われました。また「家庭における親子の関わり方」をテーマとした講演会では、約800人の参加者が、熱心に聞き入っていました。

## 産業

### 鹿屋食品が工場を増設



1月6日、業務用惣菜食品の製造を行う株式会社鹿屋食品と市との立地協定調印式が市役所で行われました。今回の事業計画は、田崎町で現在稼働している工場の敷地内に約2,300㎡の工場を増設するもので、投資額は約10億円。2月に着工し、10月の操業開始を予定しています。新規雇用は約30人が計画されており、雇用の創出と地域経済の活性化が期待されます。

### 支え合える地域づくりを目指して



1月15日、市文化会館で「鹿屋市地域づくりフォーラム」が開催されました。これは4月から新しい介護保険制度が導入されることに伴い行われたもの。制度概要や生活支援コーディネーターが紹介された後、地域の支え合いをテーマに、さわやか福祉財団会長の堀田力さんによるユニークな講演やパネルディスカッションが行われ、参加者は熱心に耳を傾けていました。

## 文化

### 個性あふれる芸術作品が一堂に



1月22日～29日、リナシティかのやで「第35回鹿屋市美術展・ジュニア展」が開催されました。大賞作である間世田文子さんの作品「3・11パートI」など、応募作品が一堂に展示されたほか、昨年11月に亡くなった元市美展審査員・穴野勝文さんの作品も展示されました。来場者は力作ぞろいの作品に、時折足を止めながら感動している様子でした。